

2006年6月13日

# 産業技術総合研究所 システム検証研究センター 第三回システム検証の科学技術シンポジウム開催 ＜講演募集＞



(独)産業技術総合研究所 システム検証研究センター



## ＜開催要旨＞

産業技術総合研究所システム検証研究センターは、現代のシステム社会に不可欠なシステム検証の研究を手がける機関として様々な活動を展開しております。その活動の一環として 2004 年にシステム検証の科学技術シンポジウムをスタートさせておりますが、この度、下記日程にて第三回目を開催する運びとなりました。これまでのシンポジウムでは、この分野の研究者や企業の皆様に多数ご参加いただいております。今回も、**システム検証の科学技術**をテーマによりいっそう活発な研究交流をはかりたいと存じます。

## ＜講演募集＞

シンポジウム開催にあたりまして講演者を募集いたします。システム検証の二つの代表的なアプローチである数理的技法 (formal methods) とテスト技法、数理的技法の対象となる数理的モデルを提供するプログラミング意味論、システム開発への品質保証の導入、検証技術の企業におけるシステム開発への適用事例をはじめとする関係各方面における第一線の研究発表をお寄せいただき、この分野の現状を明らかにできればと存じます。

**応募締め切りは 2006 年 8 月 25 日(金)、原稿〆切は 2006 年 9 月 1 日(金)です。**

## ＜開催概要＞

題名	第三回システム検証の科学技術シンポジウム (参加費無料 懇親会費は別途)
日時	2006年10月30日(月)～11月1日(水)
場所	千里ライフサイエンスセンタービル(北大阪急行「千里中央駅」北改札出口から徒歩5分)
主催	科学技術振興機構、産業技術総合研究所システム検証研究センター
協賛	日本ソフトウェア科学会(交渉中)、情報処理学会(交渉中)、電子情報通信学会(交渉中)、 ネオクラスター推進共同体(交渉中)、情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター(交渉中)、国際数理科学協会(交渉中)、日本応用数理学会(交渉中)

## ＜講演応募要領＞

申し込み方法 8月25日(金)までに応募の旨を、次の項目を明記の上、メールにてご連絡ください。  
(申し込み Email: [verification2006-application@m.aist.go.jp](mailto:verification2006-application@m.aist.go.jp))  
①氏名 ②所属 ③講演題目 ④概要 ⑤連絡先

投稿方法 下記フォーマットの原稿を9月1日(金)までに申し込み用メールアドレスに送信ください。  
①8ページ以内の pdf ファイル。②pdf への変換は High Quality の設定。  
③本文は2段組(2カラム) ③ヘッダー・フッター・ページ番号は入れない。

なお、英文論文、英語による発表も歓迎します。

問い合わせ先 産業技術総合研究所 システム検証研究センター シンポジウム事務局  
TEL06-4863-5022 FAX06-4863-5052 Email [verification2006@m.aist.go.jp](mailto:verification2006@m.aist.go.jp)

シンポジウム URL <http://unit.aist.go.jp/cvs/symposium/verification2006/>

システム検証研究センター URL <http://unit.aist.go.jp/cvs/>

以上